

いずもぎき 議会だより

第127号
2025 令和7年4月25日



3月定例会

もくじ

令和7年度予算	2
当初予算目玉事業	4
予算審査特別委員会	6
3月定例会	8
議会のうそぎ	9
議員表彰	9
1月臨時会	10
補正予算質疑	10
一般質問(9人が町政を問う)	11
社会産業常任委員会視察報告	21
政務活動費報告	21
全員協議会	22
みんなの声	24

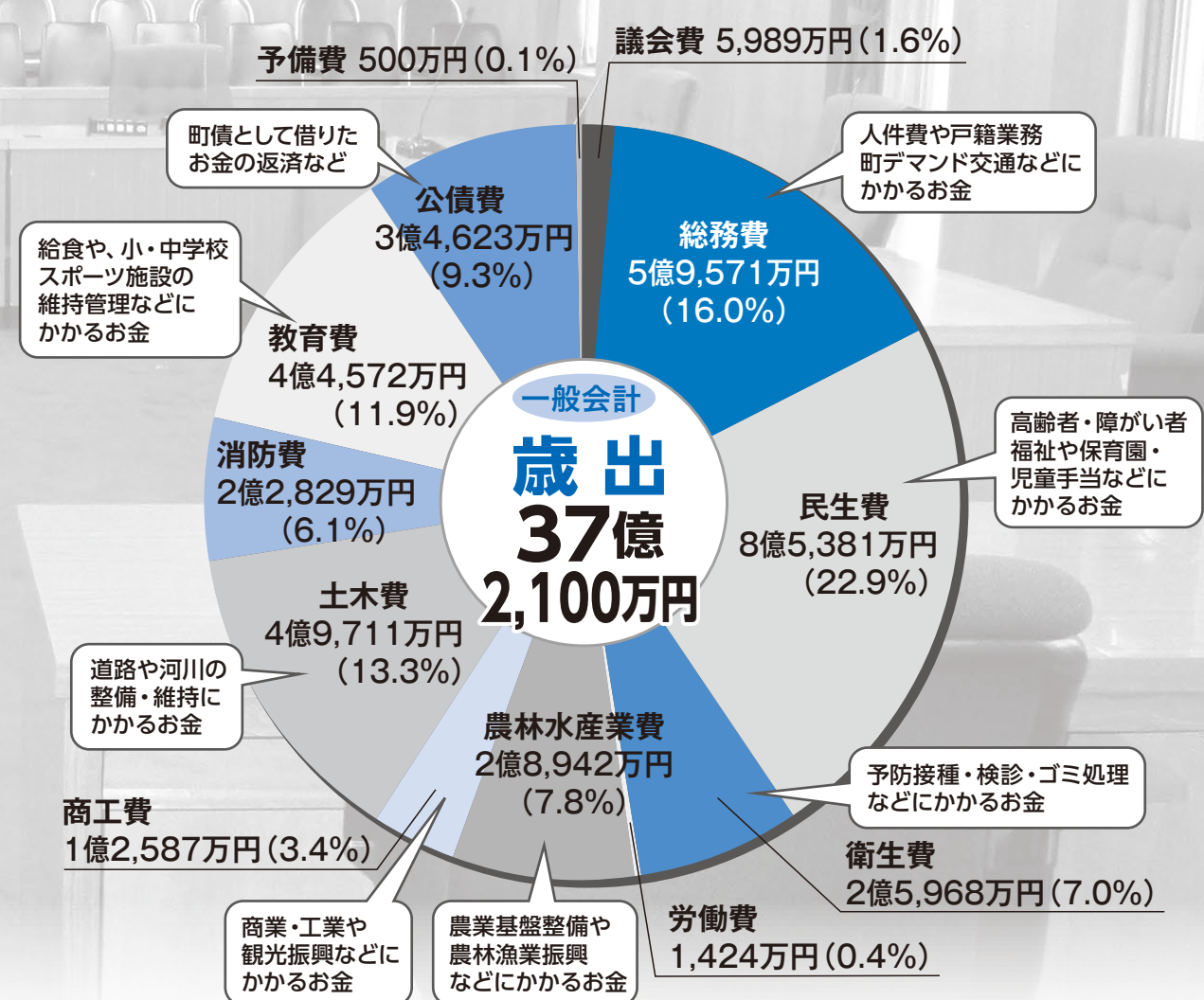
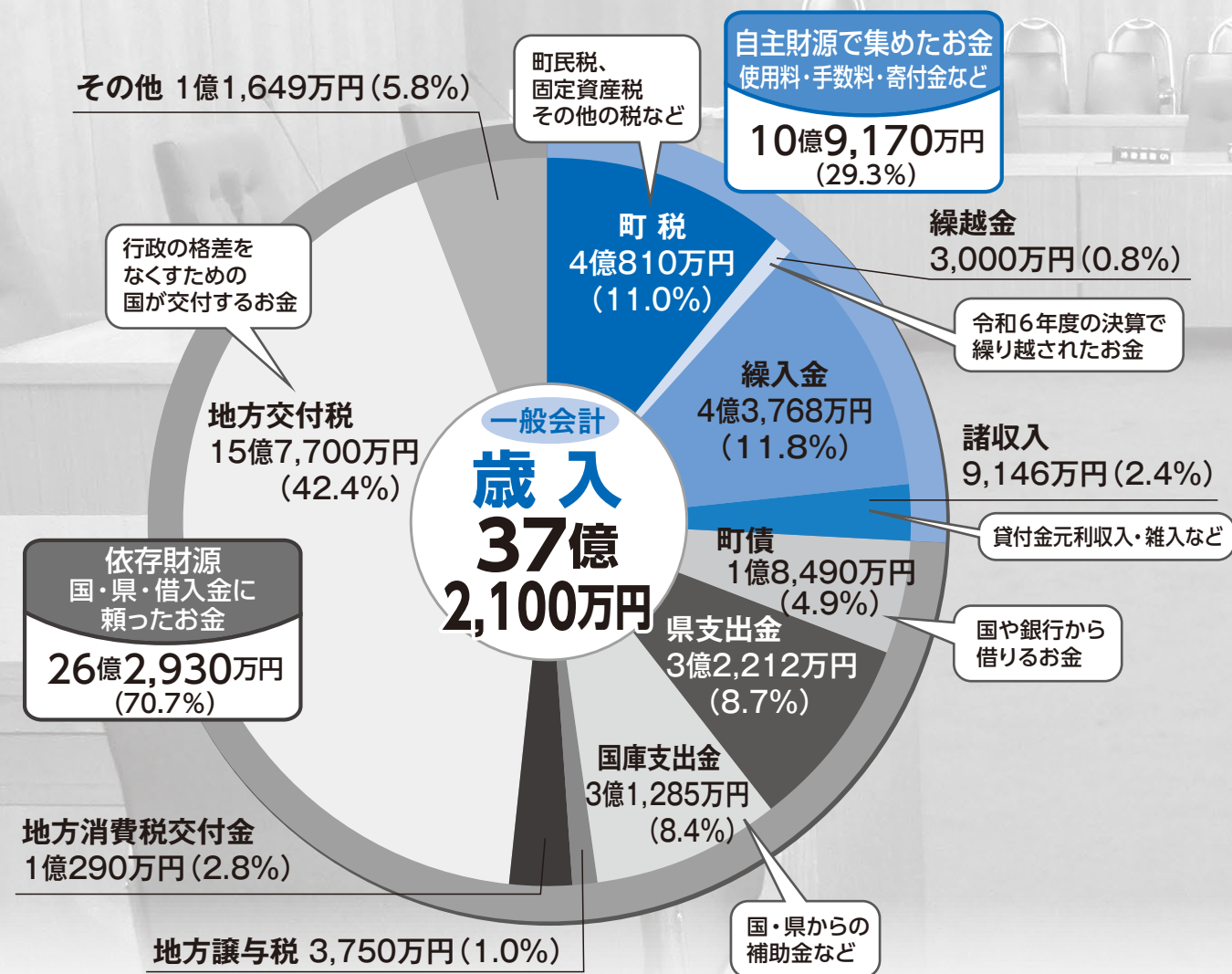
私たちの音楽を春風にのせて

出雲崎町議会
ホームページ



「真に必要な町民 サービス」を目指して

3月定例会(会期3月7日～14日(8日間))



※万円未満切り捨てのため、合計と一致しません。

一般会計 37億2,100万円 (前年度比 2.4% 8,600万円 増)
特別会計 12億6,050万円 (前年度比 1.5% 1,910万円 増)

特別会計				
(▲は減額)				
会計名	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険事業	5億3,170万円	5億 120万円	3,050万円	6.1%
介護保険事業	6億4,900万円	6億5,800万円	▲900万円	▲1.4%
後期高齢者医療	7,500万円	7,350万円	150万円	2.0%
住宅用地造成事業	480万円	870万円	▲390万円	▲44.8%
合計	12億6,050万円	12億4,140万円	1,910万円	1.5%

公営企業会計				
会計名	令和7年度	令和6年度	対前年度増減額	増減率
簡易水道事業	3億 30万円	2億8,739万円	1,290万円	4.5%
下水道事業	4億9,100万円	4億8,748万円	352万円	0.7%
合計	7億9,130万円	7億7,487万円	1,642万円	2.1%

◆水道事業関連の会計形態が令和6年度より公営企業会計に移行しました。また、「特定地域生活排水処理事業」及び「農業集落排水事業」についても公営企業会計に移行し、下水道事業会計として一本化されました。

主要施策を推進させるため前年度予算と

比べ2.2%の増額

住みやすいまちづくりを 確実、着実に進めていく

～先人から受け継ぎ、次世代へとバトンをつなぐまちづくりを～

施政方針

令和7年度の最重点施策

①町民の皆さまの暮らしを守る取り組み

・地域における防災力の一層の強化（より実態に即した津波避難計画を策定）
・10月開催の「新潟県・出雲崎総合防災訓練」にあわせ、ワークショップを実施予定

②未来を担う人材育成への取り組み

・小・中学校の入学時祝い金の増額ならびに中学校卒業時の祝い金の追加。
・「定住促進奨学金事業」の実施（所得要件等を問わない、条件付きで返還免除）

③農林水産業の推進、観光振興に向けた取り組み

・町内初の農業法人に対し経費を補助
・漁業者が使用する資材等ならびに漁協運営費等を補助
・事業拡大や新規出店にあたり改修を要する工事費を補助する「にぎわい創出出店促進事業」

④自主財源確保に向けた取り組み

・ふるさと納税増額に向け、より一層の促進を目指す
・町のプロジェクトを応援してくれる人から寄付を募るガバメントクラウドファンディングを実施

施政方針とは、政治を行うときの目的・方向・理念など

健やかに笑顔で暮らせるまちづくり

●緊急通報体制等整備事業委託料

301万円

65歳以上の高齢者のみで暮らしてる世帯に緊急通報装置を貸与。固定電話以外にも無線型も新たに導入

●妊婦のための支援給付

120万円

子ども子育て支援法改正に伴い、従来の「出産・子育て応援交付金」から法定事業として再創設

●保健福祉総合センター機能強化関係費

258万円

ふれあいの里の料金改定に伴い、設備修繕、備品等購入によって、機能強化を図る

安全で安心に暮らせるまちづくり

●町道維持修繕工事（緊急自然災害防止対策事業分）

7,750万円

災害の発生予防、災害拡大を防止するため、側溝修繕、堆雪帯整備、斜面对策、避難路整備を行う

●管路工事

4,645万円

老朽化した神条地区、沢田地区及び吉川地区の水道管（配水管／上水道）の更新を行う（公営企業会計）

●備蓄品保管庫

152万円

指定緊急避難場所4か所に備蓄品保管庫を整備する

●除雪ドーザ

2,101万円

除雪ドーザ（8t級）を1台購入する（機械更新）

地域資源・特性を生かした魅力と活力あるまちづくり

●町農業法人スタートアップ支援事業補助金

275万円

出雲崎町内の3戸以上の農業者で組織する新規法人に対して法人設立費用等を支援する

●町荷捌所等運営費補助金

119万円

漁協荷捌所等の運営にかかる経費に補助金を交付する（別予算で漁村センター空調入替補助金あり）

●町にぎわい創出出店促進事業補助金

400万円

総務課、産業観光課、建設課に分散していたものを一元化し、新規出店・改修にかかる工事費を補助

夢を育み、誇りある歴史、文化を継承するまちづくり

●定住促進奨学金貸与基金繰出金

1,500万円

所得や成績などの要件を緩和した新たな奨学金を創設する。卒業後に町に居住・就職した場合には返還免除 ※詳細は9ページ参照

●入学卒業祝金

484万円

小学校、中学校入学祝金の増額に加え、新たに卒業時にも祝金を支給。経済的負担の軽減を図る

●学習用P C端末

1,587万円

令和2年度に整備した児童生徒学習用P C端末（iPad）の更新を行う

多様な人が関わり、賑わいが持続できるまちづくり

●ふるさと出雲崎応援基金積立

8,000万円

ふるさと納税返礼品の拡充を継続して実施し、ふるさと納税の寄附促進を図り、自主財源を確保する

●町有建物改修工事

1,000万円

地域おこし協力隊の居住等として活用するため、町有建物（石井町、大門各1棟）の改修工事を行う

●出雲崎まんぷくまつり事業補助金

685万円

出雲崎まんぷくまつりを2日間開催に拡充し、1日目は音楽、2日目は食を中心としたイベントを実施する

3月定例会

予算審査特別委員会

令和7年度一般会計・特別会計は予算審査特別委員会に付託され、審議の結果、全会一致で可決しました。委員会での主な質疑内容を掲載します。

町有建物改修工事

1,000万円

【宮下議員】地域おこし協力隊の居住とするのであれば、以前のような問題が起きないように目的を持って改修すべき。

【総務課長】農業法人に関わる協力隊員には、事前に大門の住宅を見てもらっておりその改修後に入居してもらう。これから募集をかける協力隊員については石井町住宅を考えている。

【小林議員】どのような内容か。中学生との意見交換では、小中学生自らがCMに関わるなどの提案があったが検討できないか。様々な場所でもっと放映すべき。

町プロモーション
ビデオ制作委託料

33万円

【総務課長】結婚に至ったかは把握できないが、利用者がいるということは何らかの効果があると考えている。

【宮下議員】どの程度成果があがっているか。成果を見て効果的な方法を検討することも必要なのではないか。

まち恋お見合い
婚活応援業務委託料

46.2万円

【宮下議員】令和6年度実績は6000万円を超えるふるさと納税をいただいた。寄附額によってサイト使用料も増額になるので、前年度より500万円多く見積もっている。

ふるさと納税サイト
使用料

522.8万円

【中田議員】令和6年度の実績から見込んだ予算額か。

带状疱疹予防接種
助成

16万円

【高橋議員】近年メディアなどでは、带状疱疹の予防接種を受けた方がよいと流れているが、昨年度より大幅に減額されている理由はなにか。

【保健福祉課長】令和6年度から始まった事業で1月末現在6名の実績がある。国では定期予防接種化の動きがあり、当初予算としてこの額を見込んで国の動向を見ながら組み替えていきたい。

ウォーキングロード
案内看板設置費

66.3万円

【高橋議員】天領の里に車を駐車してできるコースや途中からでも参加出来るなど使い易く歩きたくなるような仕掛けを考えるべき。



小木ノ城駅トイレ

【宮下議員】状態は古く衛生面も心配されるのであれば利用者者を調査し、少なれば経費をかけて持ち続けずとも、撤去を含め何らかの方法をも検討すべき。

【町民課長】小木ノ城駅トイレについては令和3年に調査をしており少数利用であった。現行利用者があるのであれば、清掃管理をしていかなければならないが再度確認をしながら、全体を考えて柔軟に対応していく。

町電気柵設置支援
事業補助金

150万円

【加藤議員】電気柵は危険を伴うので、電気柵に加えてネットやメッシュの金具なども検討してはどうか。

【産業観光課長】ネット等は汎用性があるため、その確認に対応が可能かどうか持ち帰って検討したい。

町キャッシュレス決済
促進事業補助金

85万円

【中田議員】新規のみが対象か。先進的に導入し、町の観光や商業に貢献してきた事業者に対して手数料補助、あるいは入れ替えが必要となった場合にも補助があっても良いのではないか。

【産業観光課長】制度そのものについては新規導入を基本に考えているが、お客様の決済の範囲が拡がり有効なケースなどについては今後の課題としていきたい。

町漁業者経営
支援事業

241.2万円

町荷捌所等運営費
補助金

119.5万円

【石川議員】他の事業展開している法人との兼ね合いはどうか、出雲崎の魚を町で入手できる方法など、漁業者と今後の展望について話し合っているとはどうか。

【産業観光課長】当初予算では将来の町の漁業を考え漁協のとやりとりの中で設定した。法令に基づいての補助となるが、町全体を見た中で今後のルールを決めていく事などについて検討していきたい。



荷捌所

町ふるさと逸品開発等
補助金

50万円

【高橋議員】減額されているが、逸品の開発に手を挙げていただいたのなら、天領の里に置く、あるいはLINE等様々な媒体を通じてテストして反応を見るなどの育てる支援が必要ではないか。

【産業観光課長】手を挙げてくださる事業者が少なく減額となったが、テストや市場調査をしたいと言うことであれば、不可能ではないと考える。

公設学習塾講師報酬

405.5万円

【島議員】令和7年度も6年度同様の講師の人数が配置できるか、コースをどのように細分化するのか。

【教育長】今年度も同様に9名の講師を配置する。また、5教科のコースをそれぞれ習熟度に応じて2つに分け、10コースとし、一定数いる部活と両立させたい生徒に柔軟に対応する。

夕風の橋
点検業務委託料

500万円



夕風の橋

【宮下議員】点検業務にも修理するとなっても高額な費用がかかるかと考えるが、観光のために残して欲しい施設である。今後をどう考えるか。

【産業観光課長】検査調査の結果によるが、躯体等の安全性が担保できて、そこからの必要な部分の改修検討になる。

妻入りの街並景観推進
協議会活動費補助金

25万円

【宮下議員】出雲崎町の大切な観光資源である妻入りの街並みは、近年解体家屋が増えてその景観が失われつつある。修復のきかないものであり、推進協議会に任せるだけでなく、町行政サイドとしても再度検討して、対策をするべきではないか。

小木ノ城駅トイレ
観光用公衆便所
清掃管理
管理委託料

15.6万円

136万円

文化財保存活動事業
補助金

166.6万円

【宮下議員】獄門跡地については保存会が活動しているが、高齢化が進んで存続が難しい。こういった観光財産を保存会で維持ができなくなった場合の対策を今から講じておくべきではないか。

【教育課長】文化財保存活動の対象は地域にとつて非常に重要な保全すべき場所だと認識している。積極的に周知をして、何とか活動が継続できるように図っていく。



獄門跡地

可決された条例制定

議案第12号 出雲崎町選挙公報の発行に関する条例制定について

＊選挙公報を発行し、町政への関心及び投票率の向上を図るため。

議案第17号 出雲崎町定住促進奨学金貸与基金の設置、管理及び運営に関する条例制定について

＊専修学校、短期大学、大学等に在籍している者に対し、所得要件を設けず借りやすい奨学金を貸与する基金を設置する。貸与額は月1万円で、卒業後3年間、町に居住すると返済を免除する。

可決された条例の一部改正（主なもの）

議案第20号 出雲崎町子育て支援に関する条例の一部改正

議案第27号 出雲崎町空家等対策の推進に関する条例の一部改正

指定管理者の承認

議案第31号 出雲崎町保健福祉総合センターふれあいの里を「社会福祉法人出雲崎町社会福祉協議会」に指定する

人事案件

・監査委員の選任について

せき かわ よし お
関川嘉夫氏（駅前）

（任期：令和7年4月1日から令和11年3月31日までの4年間）

・固定資産評価審査委員会委員の選任について

たま おき かおる
玉沖馨氏（桂沢）

（任期：令和7年3月22日から令和10年3月21日までの3年間）

町の発展に

このたび、全国町村議会議長会より15年表彰をいただきました。これまでご指導、ご協力くださった皆様にこそより感謝いたします。常に議員活動の基本に「町民の皆さまの要望、考えを少しでも町政に取り入れてもらう」を考えてこれからも出雲崎町の発展のため、また町民の福祉向上に全力で努力したいと思います。

今後とも皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

（三輪議員は同時に全国町村議会議長会より、自治功労者表彰を受けております。）

議員表彰



三輪 正

可決した補正予算

会 計		補正額	補正後の予算額
令和6年度一般会計（第12号）【専決】		2,363万円	38億4,587万円
令和6年度一般会計（第13号）		700万円	38億5,287万円
令和6年度一般会計（第14号）		▲1,335万円	38億3,951万円
特別会計	国民健康保険事業（第4号）	240万円	5億5,701万円
	介護保険事業（第4号）	▲3,201万円	6億6,368万円
	住宅用地造成事業（第3号）	▲149万円	980万円
公営企業会計	簡易水道事業（第4号）	▲461万円	1億9,740万円
	下水道事業（第2号）	▲209万円	3億2,348万円

一般会計補正予算（第12号）専決

主な歳入	主な歳出
・普通分追加 …………… 2,363万円	・ふるさと納税寄付謝礼追加 …………… 884万円
	・除雪委託料・町道維持作業委託料追加 … 750万円
	・宣伝広告業務委託料追加 …………… 113万円 （ひまわりハウス・石井町住宅）

一般会計補正予算（第13号）専決

主な歳入	主な歳出
・普通分追加 …………… 700万円	・除雪委託料追加 …………… 640万円

一般会計補正予算（第14号）

主な歳入	主な歳出
・町たばこ税減 …………… ▲700万円	・移住支援事業支援金減 …………… ▲360万円
・障害者自立支援給付費負担金追加 …… 405万円	・県営中山間地域総合整備事業分担金 … ▲311万円 （八手地区）
・子どものための教育・保育給付費 国庫・県負担金追加 …………… 523万円	・大門町営住宅建替工事減 …………… ▲2,075万円
・ふるさと納税寄附金追加 …………… 3,000万円	・ふるさと出雲崎応援基金積立 …………… 3,000万円
・長岡市北部斎場整備事業債減 …… ▲1,260万円	・物価高騰対応重点支援給付金減 …… ▲294万円
・財政調整基金繰入減 …………… ▲5,062万円	・町高齢者福祉タクシー・バス利用料助成金減 …………… ▲150万円
・地籍調査事業負担金追加 …………… 660万円	・奨学金貸与基金繰出金追加 …………… 1,000万円
	・小城之城保育園保育実施委託料追加 … 5,225万円
	・出雲崎こども園施設型給付費追加 …… 388万円
	・健康診査委託料減 …………… ▲300万円
	・長岡市北部斎場整備事業負担金減 ▲1,208万円

一般質問 ~町政を問う~

1 みやした たかゆき 宮下孝幸 議員



質問項目 詳細は12ページ

1. 路線バス運行の問題点とデマンド交通の今後について

2 いしかわ ゆたか 石川 豊 議員



質問項目 詳細は13ページ

1. LED照明器具への取替における補助金制度の新設について
2. 出雲崎町津波避難緊急支援施設基本計画の概要について
3. 「少子化に対応した活力ある学校づくり」について

3 しま あすか 島 明日香 議員



質問項目 詳細は14ページ

1. 当町における風力発電事業について
2. 町の保育について

4 たかはし そくえん 高橋速円 議員



質問項目 詳細は15ページ

1. 複合災害発生時の町民の避難行動について
2. 西山風力発電事業について
3. 町公共施設長寿化について

5 こばやし れいこ 小林玲子 議員



質問項目 詳細は16ページ

1. 伝統芸能を全世代へ
2. 「セブンイレブン出雲崎バイパス店」の閉店について

6 みわ ただし 三輪 正 議員



質問項目 詳細は17ページ

1. 財政強化の取組について
2. 生活インフラ（商店など）の確保について

7 たかくあ よしこ 高桑佳子 議員



質問項目 詳細は18ページ

1. 農業法人設立について
2. 近隣医療機関との連携について

8 なか たかのぶ 中田孝信 議員



質問項目 詳細は19ページ

1. 衛星回線通信の導入について

9 なか のかつまさ 中野勝正 議員



質問項目 詳細は20ページ

1. 農業法人設立にむけての状況について

一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています

※一般質問当日、町長欠席の為、副町長が代理答弁しました。

3月定例会の録画中継はこちらからご覧いただけます→

出雲崎町議会
YouTube チャンネル



1月臨時会

議案2件を可決・承認

会期 1月9日（1日間）

承認した補正予算

会 計	補正額	補正後の予算額
令和6年度一般会計（第10号）【専決】	1,651万円	37億8,114万円
令和6年度一般会計（第11号）	4,109万円	38億2,240万円

一般会計補正予算（第10号）専決

主な歳入	主な歳出
・物価高騰対応重点支援地方創生 臨時交付金追加 1,651万円	・物価高騰対応重点支援給付金 （令和6年度非課税給付） 1,630万円

一般会計補正予算（第11号）

主な歳入	主な歳出
・物価高騰対応重点支援地方創生 臨時交付金追加 2,159万円	・プレミアム商品券利用事業交付金追加 3,950万円
・プレミアム商品券販売料追加 1,950万円	



建設課長 除雪ドーザーのタイヤチェーン、排雪盤のエッジ、融雪剤である。

石川議員 主にどのような内容なのか。

道路維持費
消耗品費追加

130万円

ここが聞きたい!!

補正予算
質疑

主なものから抜粋して掲載しています



ひまわりハウス

町長 町に定住することに繋げることは大切なことだ。定住支援などを来年度、検討している。

宮下議員 他に転居するまでの一定期間だけの定住先にはしていない。町に定住してもらうための方策を検討しているか。

建設課長 ひまわりハウスが3世帯分空いている。新聞チラシを作成し長岡、小千谷地区を中心に新聞折込を投函した。また、物件紹介広告の「スーモ」や「らくすむ」等に空き部屋情報を掲載している。

島議員 具体的にどのような内容の宣伝をしているのか。

住宅管理費
宣伝広告業務
委託料追加

113万円



宮下 孝幸 議員(文責)

路線バス運行の問題点と デマンド交通の今後について

副町長

現段階では 路線バスを維持していく

**町民の移動手段を
どう確保していくべきか。**

バス路線の運行状況は

【宮下】 出雲崎・長岡線の
主な年代の利用者と数はど
れくらいか。

【副町長】 乗車場所別人数は
分らないが、当町の高校
生の利用者人数は17名程度
となっていると思う。

長岡バス路線の問題点

【宮下】 長岡地区全路線
を含むバスの運行予算は
3,850万円。当町の利
用者が少ない長岡路線バス
を、一時間に一便又は30分
に一便程度、予約で運行す
るデマンド交通とする為、
まずは越後交通と協議をす
べきと考える。

【副町長】 長岡線は、高校生
や日赤に通う人の大切な路
線だ。輸送量確保の路線で

もある。定住自律権の提携
で基幹バス路線を維持する
定めもある。

今後利便性などの問題が
あれば、新たに模索してい
くが、現時点では、ぎりぎ
り頑張つて路線バスを維持
していく。

デマンド交通の問題点

【宮下】 夕方以降は走らな
いデマンド交通「てまり
ん」に、12,166千円
の予算を投じている。

夕方以降は走らない状況
で、現在のデマンド交通は、
町民の移動手段として、
十分な役割を果たしている
と思うか。

【副町長】 町内の空白地解消
の移動手段だ。令和6年度
から、タクシー券利用も開
始し、利用者は増加傾向に
ある。夜間や町外、長岡路
線への要望がある事は十分
承知しているが、一定の
ニーズは満たしていると思
う。

予算と事業の一元化を

【宮下】 長岡路線負担金・
高齢者福祉タクシーバス・
障害者福祉タクシーバス・
障害者自動車燃料費助成・
人工透析通院費助成と「て
まりん」の予算総額は
24,552千円にもなる。

酷似した事業予算を一元
化すれば、目的地への直行
するデマンド交通長岡路線
への運行開始は、予算的に
も十分可能ではないか。

【副町長】 今の細かな制度を
無くせばサービスの低下や
不便も生じる。ニーズに答
えられるよう今後も精査を
していく。

他県・他町村の一例に学べ

【宮下】 以前紹介した神奈
川県中井町では、病院は近
隣秦野市日赤病院へ、買い
物は大手スーパーなどへ
と、自治体の垣根を越えて
オンデマンド交通を走ら



3時間に1本程度の路線バス長岡線

せている。全国や近隣の多
くの自治体では、先進的な
取組みがなされている。30
分に一便程度、町単独路線
の運行なら、帰省客の送迎
も十分可能となる。出雲崎・
長岡線を、予約で走るデマ
ンド交通開始へと政治的舵
を切るべき時代ではないの
か。

【副町長】 他の自治体で始
まっている事は承知してい
る。しかし多額の費用も発
生する。

現段階では、現公共交通
の活用が重要であり、デマ
ンド移行は現段階では早い
と思う。

LED照明器具導入・取替の 補助金制度の新設について

副町長

検討していないが、 他町村の動向を注視して考えていく

**LED照明器具
導入・取替の
補助金制度の新設は？**

【石川】 2年後の2027
年末には、現在使用してい
る全ての一般照明用蛍光ラ
ンプについて、製造と輸出
入が禁止される。ついでに、
個人法人を問わず、LED
照明器具導入取替をする場
合、補助金制度の新設を提
案するが、行政側の所見を
伺う。

検討はしていないが
他町村の動向を注視して
考えていく

【副町長】 全国的には、事業
所などがLED照明を導入
する場合の補助制度がある
自治体は幾つかある。

耐用年数も長く、消費電
力も抑えられることから導
入効果も高く、現在はある
りLEDの普及が進んでい
るのではと予想するが、L
ED器具導入に対する補助
制度は今のところ検討はし
ていない。但し、今後の他

町村の動向を注視しなが
ら、考える余地はある。

**出雲崎町津波避難
緊急支援施設基本計画の
概要について**

【石川】 緊急避難場所から
指定避難所への横断通路の
整備の進捗状況。基本計画
の地区ごととは、具体的に
はどのエリアを指すのか。
本計画策定にあたって、区
長などの住民参加の考えは
あるか、以上3点所見を伺
う。

質問の3点について
次の通り考えている

【副町長】 現地確認を行い、
横断通路の整備をしなくて
も移動可能な場所というの
は確認している。

海岸地区の各行政区ごと
に避難目標、避難手段、避
難通路について、図面によ
り定めている状況である。
本計画策定は、既に2月
段階で策定済みである。

**小中一貫教育の導入を
視野に入れているか**

【石川】 令和15年度の学年
別の児童生徒数が現在の約
半分になることが想定され
るとあるが、小中一貫教育
の導入を考えているか。

【教育長】 現在の学校教育を
維持発展させて、出雲崎町
に学校を残していくために
はどんな方法があるのかを
考えたとき、小中一貫教育
の導入が出雲崎町の学校の
在り方の選択肢の一つとし
て、検討されるのではない
かと考えている。



整備された「津波緊急避難路」(羽黒町地内)



石川 豊 議員(文責)



島 明日香 議員（文責）

風力発電事業 どう考える

副町長

再エネ普及は重要だが 町民の不安も承知

町民の反応を どう捉えるか

島 2000人以上の計画撤回を求める署名が集まるなど、大きなムーブメントが起きていることを、どのように捉えているか。

町民の意見や心配は承知

副町長 この度の西山風力発電事業については、その規模等から色々な意見があることは承知している。計画を知らない方も多いと指摘もあり、再度説明会開催に至った。また、署名での大きな動きについても把握している。事業者には、町民の意見や不安に対し、真摯な回答、対応を求めている。

計画を受け入れるか否か

島 県に提出する意見書の内容はどのように書くか。

町民の不安な点について 具体的な意見を記載予定

副町長 まず住民の安全、安心に関わる事項について、環境保全の見地から問題があった場合の対応等含め、総合的な事項として求めた上で、大気、騒音、低周波音等に関する点、水環境に関する点、景観に関する点など、皆さまの心配されている点について具体的な意見を記載する。県から求められている内容に沿った形での意見書となる。

町民の健康と生命が 脅かされることのない 町の判断を求む

島 妻入りの街並みは、新潟の顔づくり事業の景観形成地区の指定を受け、建設省の歴史国道にも選定されている。しかし、街並みの中からも風車が見える。街並み景観推進協議会の意見が反映された内容になっているのか。また、



風力発電事業の説明会の様子

町の保育施設 どうなる

副町長 幅広い財政的な 支援を維持

島 両園が、今後も存続するための考えはあるか。

副町長 両園の特性を生かし、創意工夫をしながら質の高い教育、保育の提供をしていただいていいることを評価している。また、少子化や園児数の減少は著しく、園の経営は厳しい状況にあると考えている。町として、国、県補助金を最優先に、町独自の補助を併用しながら財政支援を維持する。令和7年度予算には、園児に必要な教材、備品購入費用を補助する事業を計上した。

さらに、人口減少地域などで定員充足率は低下し、質の高い保育の提供が困難となっていることから、量の拡大から質の向上へ転換し、地域ニーズに応じた保育提供体制の確保を図る保育政策の方向性が、こども家庭庁より公表されている。今後も、国、県の動向を見ながら必要な支援を検討していく。



高橋 速円 議員（文責）

複合災害、まず逃げる！ つぎがトイレ！

副町長

補助制度を利用してほしい

自分のいのち 自分で守る！

高橋 互近助（ゴキンジヨ）ということばがある。お隣同士協力してすぐ逃げる。これからは車で逃げることに主になる。問題はトイレだ。車での簡易トイレ。そして温かい避難食。企業協定を大手牛井チェーン店と結べないか。キッチンカーもある。また一人用耐震ベッドがいま注目されている。LEDライト付きヘルメットなどへの助成。個人への応援ができないか。

町の補助制度が既にある 災害協定先とは確認する

副町長 それぞれが自主防災組織をより認識して、必要な資材を準備してほしい。

西山 風力発電 事業

町の6次総合計画 とは相容れないの ではないか？

高橋 施政方針で町長は総合計画にある理念を大事にしている。この理念と風力事業とは相容れないと考えるがいかがか。

環境、景観、たしか に理念に通じてい る部分はある

副町長 行政と町民が努力して街並みは大切にしていきたい。環境や宿場町の風情などは後世に伝えていく大切なところだ。意見書にはちよつと触れたい。

小、中学校校舎など建替え検討の時機だ！

町長

いろいろ町民のニーズを把握し サービスの維持を図る

計画的効率的に管理する なかでサービス維持に努 める

副町長 公共施設の質、量への町民ニーズの変化に則して取り組む。統廃合も含めサービスの維持に務める。町民のニーズの把握は大事で、公式ラインやホームページ、防災行政無線で町民に伝わるようにしている。

公共施設の長寿命化 どう順序だてるか 役場庁舎、小中学校ほか、 県立高校の将来構想も含め 検討の時機だ

高橋 昨年12月、県が県立高校の将来構想をまとめた。この中に出雲崎高校が入っていた。

これをテコに役場庁舎、小中学校、公民館、あるいはコンビニや保育園問題など町の全体像再構築できないか。
アンケートも必要ではないか。



小林 玲子 議員（文責）

伝統芸能を全世代へ

副町長

見て・聞いて・体験・体感できる 機会を設けたい

小林 小学校では地域の保護者の協力や「放課後児童教室」などで「出雲崎おけさ」の体験をすることができ、中学生や高校生にも体験の場を広げること検討している。

副町長 趣味や志向の分散化、芸能文化の多種多様性は否めない。後継者の育成や普及などの課題もあり、町民の皆様や関係者に理解と普及を図るべく努力をしていく必要がある。伝統芸能を中学校や高等学校で体験できる機会を広げることが、文化の継承や生徒の感性を育む上で非常に有意義だ。地域の人々の協力や、団体と連携が可能と判断されたときに実施したい。

小林 「出雲崎おけさ保存会」や「小木ノ城太鼓」の活動をアピールしながら小学校、中学校、高校と継続できる体制を整えることにより後継者や指導者の増加、

さらに町の行事等で披露することで今まで以上に活気が出ると思うがいかがか。

副町長 本町自体でイベント等の最後の締めは「おけさ」というような雰囲気広がれば、さらに子供たちにも広がると思う。

伝統芸能を取り入れた 健康体操を提案する

小林 高齢者の方にとつては、「出雲崎おけさ」は特に馴染みがあり「おけさ」や「太鼓」の振付や掛け声を取り入れた健康体操などがあれば、楽しみながら伝統芸能の継承に大きな貢献ができると思うがどのように考えているか。

副町長 伝統文化を体操に取入れることは、文化の継承、健康促進、地域活性化の観点から非常に有益な取組と考えるが時間がかかる。まずは、イベントでの披露や施設で曲を流すなど身近なところからスタートしたい。

「セブンイレブン 出雲崎バイパス店」 の閉店について

副町長 課題を整理し、
開店に向けて
動いている

町としての今後の対応策を
検討しているか

小林 「セブンイレブン出雲崎バイパス店」の事業継承や新たな商店などをつくるなどの事業計画を検討しているか。

副町長 町が既存制度以外の直接的な支援はなかなかない。しかし、町も継続のために課題の解決に向けて動いている。

小林 コンビニも閉店してしまい、買物などますます不便になる。今後どのように若者へ定住のアピールするのか。

副町長 従来の制度や仕組みを最大限活用し支援し、

利用促進を図ることが重要だ。

小林 今あるタクシー券やデマンド交通などの補助の他に検討していることはあるか。また、移動スーパールの利用範囲を広げることなどを検討しているか。

副町長 高齢者に対して、買物支援やお弁当配達事業、給食サービスなどを実施している。また、移動販売についても情報提供を含め行わなければならないと思っている。

転職の斡旋について

小林 多くの方が勤めていたと思うが、町内の事業所等への転職の斡旋などを検討しているか。

副町長 ハローワーク長岡・柏崎の情報役場ロビーでも確認できる。すでに他店への転職の斡旋をしているという情報も得ている。

財政強化の取組について

副町長

収入増と経費削減に 全力で進める

三輪 正 議員（文責）

三輪 町の将来を考えると財政の強化は大変、重要である。

今後、町は建物、道路、上下水道等のインフラ維持、教育、医療、子育て、交通対策など経費が増大すると思われる。

町は収入を増やすため「ふるさと納税」の取組強化をして、その効果は予想以上に上がっている。収入の増加と経費の削減について対応を伺う。

7年度の目標 8,000万円

副町長 令和6年度2月まで約6,100万円、件数2,040件で大幅に増加しており、7年度目標8,000万円である。

返礼品の8割を占めるお米は本年度以上に確保できるように農協と交渉中である。具体的な事業を提案に共感した方から寄付を募る「ガバメントクラウドファンディング」を実施す

る。返礼品の新規に追加したい。



ふるさと納税の取り組み(事業者説明会の様子)

三輪 収入の増加と同時に経費削減に取組んでもらいたい。各特別会計（国民健康保険など）に毎年、一般会計より約3億円以上の繰出金を支出されている。先ほど宮下議員が質問したように交通対策について個々に実施するのを全体の

事業としてやれば経費削減となると考えを進めるべきである。

経費の見直しと 国県補助金を取組みたい

副町長 エコパークの交付金が8年度から5,000万円と減額される。経常的経費の徹底した見直し、各種補助金、事業の見直しなど国県補助金を挑戦して取組む事が大事だ。

三輪 全庁で取組んで将来に備えてもらいたい。

生活インフラ (商店などの) 確保について

副町長 全力で対応していきたい。

公共料金納付や住民票、 印鑑証明など 店舗は大切

副町長 町としても公共料金の納付や住民票、印鑑証明関係にと大事な店舗である。全力で対応していきたい。



高桑 佳子 議員(文責)

農業法人設立後の方向性は

副町長 法人の経営の安定化を最優先に

高桑 出雲崎町における持続可能な農業に向けた基本的な考え方では、「町全域を対象とした農地所有適格法人の設立により、出雲崎版儲かる農業の実現を目指す」としていた。これからの事は農業法人で決定し、示されていくものと思うが、町が今まで協議会で検討し、法人設立後も支援を継続しながら安定した経営を目指すのであり、将来どのような方向性を持った農業法人を考えているのか伺いたい。

作付面積と乾燥・調整は
どうするか

高桑 発足時の基本作付け農地面積はどの程度にな



農業ハウス

るか。また、乾燥・調整等は法人で行なう予定か。法人として高騰する経費の中で利益を出していかなければならない。従業員一人あたり10町歩目安とも言われているが、どう、米を売っていくかも重要である。

法人役員所有の設備等を
活用する

副町長 農業法人発足時の基本作付け農地面積は15haとなる。JAでは、令和7年度産米に係る乾燥調整施設の受け入れ単価引き上げを予定しており、法人の利益確保のため、法人役員所有の設備を活用する予定である。

刈取り量が多かった場合はJAの施設を利用する両刀遣いで考えている。

早期の作業受託開始を

高桑 安定した経営のための山菜栽培・受託作業と聞くと、まずは水稲生産だと思う。法人設立に町内の

農業者は「うちもまかつてもらえないか」と期待をしている。出雲崎が抱える高齢化・後継者不足の切り札になつてもらいたい。作業受託の募集はいつになるか。

田植後の時期を
考えている

副町長 7月からお盆頃を目安にして、法人に直接お問い合わせいただく予定にしている。

高桑 法人、耕作者との調整が大切になってくると思うが、難しい作業になる。調整の場を設定する、あるいはシステムを考える等、町で関われないか。法人の耕作面積が増え集約化が進む流れになると良い。また、法人化によって、連続した次世代へ事業継承が期待できる。地域おこし協力隊員の増員も検討いただきたい。

副町長 経営の安定化を最優先に考えている。産業観光課内に農林水産企画室を設け、支援体制を進めている。

近隣市村との医療連携について

高桑 長岡のICTを活用した医療介護連携システムフェニックスネットに加入する考えはないか。また、高齢者が対象の救急医療情報キットを全町民に拡大してはどうか。

副町長 長岡市医師会からフェニックスネット活用については提案があり、7年度に検討協議を図っていく。救急搬送キットは必要に応じて65歳以下でも渡せること、国がマイナナンバー読み取りにより、救急の際に情報を把握できるシステムの導入を予定していることから、その動向を注視したい。

衛星通信回線(スターリンク)の導入について

副町長 メリット・デメリットならびに導入費用を精査した上で検討したい

「衛星通信回線(スターリンク)の導入について」

中田 東日本大震災を例とするように、大規模震災などの激甚災害によって音声通信、パケット通信が十全に行えないといった問題が発生している。

本町においても複数の回線を用意し、通信の安定性を確保しているが、現状の携帯回線がすべて使えなくなつてしまった場合に備えてスターリンクに代表されるような衛星通信回線を導入し、被災時の利用、また平時においては将来的に移動診療車に利用するために導入できないか。

本町の町域防災計画の中で防災通信施設として

副町長 現在、6台の衛星携帯電話が配備されている。これらは平成16年以降の豪雨災害などで携帯電話が繋がらない地域があり、避難所等と連絡を取り合

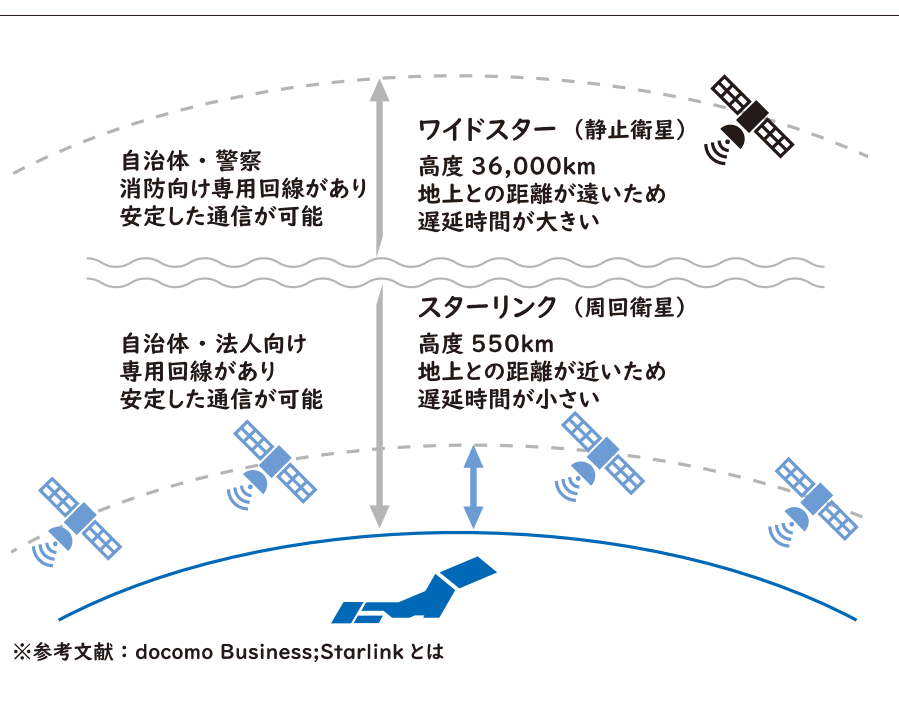
うために導入した経緯がある。

現在、衛星携帯電話はワイドスターIIを利用してるところだが、令和10年3月にサービスの提供が終了すると聞いている。今後の衛星通信サービスの切り替えと合わせてメリット、デメリットや導入費用などを十分に精査した上で最適な通信環境の整備を検討したい。

中田 スターリンクについては導入費用が1基あたり5万5千円、通信費については利用月のみ発生する形なので、今後衛星携帯電話が使えなくなつていた場合に転換していつてほしい。

ワイドスターII 終了しても大丈夫?

ワイドスターIIは本文中にもあるようにサービスの終了が決定しているが、次世代サービスとしてワイドスターIIIの提供を開始しているため、切り替えは可能となっている。



ワイドスターとスターリンクの違い

社会産業常任委員会 視察報告

社会産業常任委員長 島 明日香



令和6年12月24日に、小木之城保育園と出雲崎こども園を訪問し、現地視察をおこなった。
主に、園の運営状況の説明を受け、保育環境を実際に見学した。

小木之城保育園

園児は、元気よくあいさつもでき、和太鼓やよさこいなど体全体を使って披露してくれて、はつらつとしている様子であった。

その他にも、こどもたちが好きな活動に出会えるように、体操教室や英語教室、茶道教室や食育活動にも力を入れている。こどもたちの「やってみたい!」の気持ちを大切に、好きなことはもっと好きになれるように、苦手なことはチャレンジしてみる気持ちが芽生えるような保育を実施していることが伺えた。

遊具や園舎のメンテナンスに費用を要していることや、園の前の道路はスピードを出す車も多く、冬季間や延長保育の際の園児や保護者の安全を危惧されていたため、検討の余地がある。



出雲崎こども園

園児は、好きな材料や道具を自由に使いながら、各自の個性を発揮している様子が伺え、表情も豊かであった。

保育者は、「将来町に新しい風を吹かせてほしい」そんな想いで保育や教育にあたっている様子があり、町の将来を見据え、社会に貢献できるよう粘り強さを養ったり、心の豊かさを育てていることが伺えた。

しかし、町全体のこども数と入園児の減少で、園の維持存続が非常に厳しい状況にあることや、町からの補助金には使いにくいものもあり、安定した保育や教育を継続していくことが難しいというお話を聞いた。子育て支援に加え、町の保育・教育をどのように遺すのか具体的に示してほしいと要望があった。



各委員からの意見

園の運営に大きな危機感を抱いていることを理解した。
町全体の問題である。



伝統を大切にしていたり、主体的に創造できる環境が整っていて、それぞれ特色があって良い。



今ある資源が最大限活用されている。
不安な部分は、園と地域と町、チームで対応が必要である。



令和6年度 政務活動費報告

(単位: 円)

議員氏名	交付額	支出内訳					合計	返納金
		研修費	広報・広聴費	資料作成費	資料購入費	事務費		
中野 勝正	60,000	27,906	0	0	23,762	13,580	65,248	0
加藤 修三	60,000	27,906	0	0	33,972	11,880	73,758	0
小林 玲子	60,000	27,906	0	2,200	15,092	15,610	60,808	0
高橋 速円	60,000	27,906	0	0	67,572	11,880	107,358	0
三輪 正	60,000	0	0	0	67,572	11,880	79,452	0
高桑 佳子	60,000	57,306	0	0	21,672	11,800	90,778	0
宮下 孝幸	60,000	27,906	0	0	57,972	11,880	97,758	0
石川 豊	60,000	97,946	0	0	21,032	12,580	131,558	0
中田 孝信	60,000	0	0	0	9,972	11,880	21,852	38,148
島 明日香	60,000	27,906	4,154	0	15,252	17,280	64,592	0

月額5,000円×令和6年度活動月数(12カ月)で交付

農業法人設立に向けての状況について



中野 勝正 議員(文責)

副町長

3月14日

6名で、設立総会をされる

設立を目指す
農業生産法人の
形態について

中野 町も県も農業生産法人を支援してくれるというところなので賛成である。この法人に町や農協、これに賛同してくれる農家の皆さんからも出資していただき、参加していただいたほうが良いと思うが農業生産法人、役員の皆さんはどのように考えておられるのか伺う。

副町長 農業生産法人の皆さんは、支援は感謝である。しかし、出資は考えていない。

法人の構成員について

中野 稲作農家4名、クラス2名が作業協力2名が作業協力者、この体制を中心に、現在活動している作業受託協議会、及び園芸品目協議会の会員がサポートする。さらに現在募集中だが、地域おこし協力隊が農業生産法人の従業員に加わる予定との説明だが役員は、稲作農家4名しか考えていないのか伺う。

副町長 役員は6名を考えている。

法人の活動範囲について

中野 令和5年2月16日の全員協議会の説明では、出雲崎町全域を下地区、中地区、上地区に分けて、活動をするとの説明、又、令和7年2月13日の全員協議会の説明では、まずは経営を安定させることが重要で、基盤整備実施済みのほ場又は、それに準ずる条件のほ場ということだが、地区担当を決めて活動をするのか、法人全体で活動をするのか伺う。

副町長 今の考えは、法人全体で組みたいとの回答だった。

法人発足当初の
耕作農地について

中野 担当課長から耕作農地の面積を聞いたところ、発足当初は15ヘクタールということだが、募集をかけ、面積を最低でも30ヘクタール以上に出来ないか伺う。

副町長 発足当初は15ヘクタールでいく。稲作農家や園芸品目協議会の協力をいただながら稲作農耕35ヘクタール園芸関係7ヘクタール、合計42ヘクタール出来るように努力する。

施設機械の所有について

中野 法人の事務所や機械器具類の格納等の施設については、構成員等が所有するものを借用するとのことだが、JAの車輛センターを借りることはできないか伺う。

副町長 農協に確認した所、難しいとの回答だった。

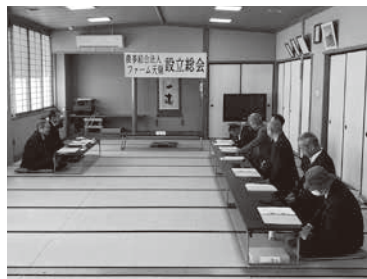
関係する町の
補助事業について

中野 町農業法人のスタートアップ支援事業補助金、町農業機械施設整備事業補助金、町水稻防除費助成事業補助金の支援については賛成である。
補助事業の概要で3戸以上の農業者とあるが、今後出てくる農業生産法人の農地面積の大小にかかわら

ず、全ての農業生産法人に支援を実施するのか伺う。

副町長 概要で述べているが関係する町の補助事業でありそれぞれの機関から審議していただきたいと思う。

中野 町、県、農協の支援の中、この農業生産法人を一日も早く町として、大きくしていただきたい。今困っていただける方は1ヘクタール以下、さらにいえば0.5ヘクタール以下である。町の現在の耕作面積は350ヘクタールなので、早く農業生産法人の皆さんに100ヘクタール以上を目指していただき、そして個人経営の方々もさらに頑張っていたいただきたいと思う。



3月14日
農事組合法人ファーム天領設立総会

全員協議会 1月～3月開催分

全員協議会は議案の審査又は議会の運営に関し、協議または調整を行うための場です。行政内容あるいは、提出議案について理解を深める場にもなっています。主なものから抜粋して掲載しています。

県立高校 将来構想説明会の報告

教育長 県教育委員会は、魅力と活力ある学校づくりの中長期的ビジョンである、新しい県立高校の将来構想を3月に公表する。県立高校の再編は、出雲崎高校が10年後もそれ以降も存続していることを全町民が願っていると言って良いほど私たちにとって大きな事案であると捉えている。

現在、適正な規模に満たない小規模校の高校が53%で、適正な学校規模を下回る高校が多い。

出雲崎高校のあるエリアでは、出雲崎高校午前の部が1学級、長岡明德高校午前の部が3学級、夜間の部が1学級で計5学級が設置されている。出雲崎高校の定員充足率は、68・6%、明德高校午前の部が83・3%、夜間の部が45・7%である。将来構想の基本方針に則れば、長岡地区と出雲崎地区の生徒が同



県立出雲崎高校

ふるさと納税の現況

総務課長 令和6年度の寄付額は、6,059万7,000円、件数は2,027件と過去最高になった。本年度は、ふるなび、JR東日本のサイトを追加し、1月中旬にアマゾンのサイトを新たに開設する。寄付金額のうち、お米の占める割合は81%で、冷凍いちごや黒にんにくの寄付件数も伸びた。昨年12月に予想を大幅に上回る寄付があったことから、予算の不足が生じたためふるさと納税寄付謝礼や代行業務委託料、サイト使用料で11,500千円の追加補正をする。

令和7年度 保健福祉総合センター ふれあいの里に関する 事業展開

保健福祉課長 4月から保健福祉総合センターふれあいの里として、一体的管理・運営すること



ふれあいの里 新しくなった看板

とで関係機関と実施事業について協議が終了した。通所型サービス事業の「運動中心型通所サービスしゃきつと」は、4月から社会福祉協議会に委託先を変更し、毎週水曜日と金曜日の午前中に実施する。それに従事する支援員2名の採用募集をする。また、地域包括支援センター事業については、施設内で事務所を移設し、地域包括ケアシステムを推進するための各事業に現職種を兼任配置し、事業の見える化と取組強化を図る。そのため、介護支援専門員1名の採用募集をする。

令和7年度 教育課関係の拡充事業

教育課長 一つ目の定住促進奨学金事業は、大学生等へ通学費などの使途の広い奨学金制度の拡充とする。返還免除として、町内に居住し就職した場合は免除とする。5月頃募集を開始し8月に1年間分を一括で振り込む。財源は、一般会計から積み立てる。二つ目の小中学校入学卒業祝金支給事業は、支給金額の拡充と新たに中学校卒業祝金を創設する。それに伴い、小学校就学前の3年間に年間3万円を支給していた子ども育成支援金は、令和7年度で廃止する。

石川議員 就職先は町外でも良いのか。

教育課長 町に居住し、通勤可能な範囲内であれば就職先は町内に限らない。

風力発電事業

島議員 工事開始予定まで約1年に迫る中、町としての対応が遅いのではないか。

町民課長 令和2年4月に風力発電事業者から町に最初の説明があり、6月に町から議員に説明をおこなった。また、広報いずもぎ7月号で計画段階環境配慮書の縦覧について、令和3年1月号で方法書の縦覧と、2月の住民説明会の開催についてお知らせした。その後、令和6年10月号で準備書の縦覧と11月の住民説明会の開催についてお知らせした。町として、町民への情報提供はおこなってきたと認識している。

島議員 町としての姿勢を示してほしいという声が多いが、どのように考えるか。

町民課長 高さ約195mと大きな風車が建設されることに対し、様々な不安の声があることを承知している。その意見等も勘案しながら新潟県への回答を作成したい。

津波避難

緊急支援施設基本計画

総務課長 能登半島地震発生時の避難状況を踏まえ、地区ごとの避難目標・避難手段・避難経路を定め、避難者相互の集中による渋滞発生等の防止、迅速・円滑な津波避難のための必要な事項を定めている。県の想定する2倍の標高まで浸水した場合、海岸地区の住家は大半が浸水すると想定している。徒歩による避難が困難な地域の検証を行い、避難時間内に最寄りの指定緊急避難場所まで到達できるかを地区ごとに判定し、困難な地区は車での避難も考慮する。物資の整備については、避難場所への安全な移動が困難な指定緊急避難場所には、令和7年度に備蓄品などの整備をする。今後、住民主体の避難方法の検討

出雲崎小学校 NTT光ケーブル切断 による損害賠償

教育課長 昨年7月18日、学校へ引き込みのNTT光ケーブルに巻きついた蔓を取り除こうとしてケーブルが損傷した。復旧にかかった経費を賠償金として支払う。NTTと損害賠償示談書において、損害賠償請求の支払い確認の日をもって和解が成立するものである。賠償額

空き家等対策の推進に関する 特別措置法に基づく 「特定空き家等」の認定

11万3,272円を予備費を以って支払いをするが、加入する損害賠償保険からの補填とする。

総務課長 この度、当町にて初めて特定空き家等の認定をおこなった。周囲の生活環境に著しく悪影響を及ぼす空き家に対し、必要な調査を実施し、条例に基づき町長が認定するものである。町長が命じた措置を履行しないとき等は、行政代執行を行うことができる。今回、木折町地内の隣り合わせの2軒を特定空き家と認定した。2月12日に建築士と職員3名で判定基準表に従い調査した結果、2軒とも特定空き家等と認められる基準に達した。2月27日に、町空き家等対策協議会を開催し、委員から認定について異議が無い旨を確認し、同日付けで空き家の所有者等に認定通知書を発送した。今後は、法律に基づいて順次進めるため、解体の時期は現段階では未定である。

議会のうごき (主なもの)

(令和7年2月～4月)

- 2・7 議会運営委員会
- 13 第3回全員協議会
↓詳細はp22～23
- 21 第76回定期総会・臨時議長会議(新潟市)
- 22 議会サロン(陽だまり)
- 25 議会運営委員会
- 3・7 3月定例会初日
↓詳細はp8～10
- 10 議会報特別委員会
社会産業常任委員会
総務文教常任委員会
- 11 3月定例会 一般質問
↓詳細はp11～20
- 12 予算審査特別委員会
↓詳細はp6～7
- 14 議会運営委員会
3月定例会 最終日
↓詳細はp8～9
- 26 議会報特別委員会
↓詳細はp22～23
- 4・2 議会運営委員会
議会報特別委員会
- 3 議長会議(新潟市)
- 9 議会報特別委員会
議会運営委員会
- 15 議会運営委員会
第5回全員協議会
- 22 第5回全員協議会

英語との出会いは？

社会人になってから、アロマやマッサージの勉強を本格的にしてみたくなり、イギリスのバースに留学しました。それが人生のターニングポイントだと思っています！異文化への理解が深まり、国際感覚を養うことができました。

英語教室を始めたきっかけを教えてください

留学を通じて、達成感や自己肯定感が人生を豊かにしてくれると実感しました。英語は、世界中の人とコミュニケーションがとれます。将来社会に出たときに、自分のやりたいことを選べる幅が広がります。この教室をきっかけに、世界で活躍できる子どもたちが増えるとうれしいです！

ABC
Come here!



みんなの声

町の子どもたちに楽しく
英語を教えています!!

ECCジュニア 神条教室

なんばはるか

南波 春香 さん

インタビュー
しました!



AIで翻訳も可能になったことについて 思うことは

AIなどの機器による翻訳は、表現が硬いです。自分の言葉で伝えることは、相手との心のきずなが深まると感じています。

町に望むことを教えてください

子育て支援が充実していて、子育てしやすいと感じています。

英語教室を始めて6年が経過しましたが、無料の町塾ができてから当教室への影響は大きいです。

また、新潟県全体的に学力が低いことも問題に感じています。大阪市で取り組まれている「塾代助成事業」のように、子育て世帯の経済的負担を家庭の状況によらず軽減できるとともに、子どもたちの学習意欲を伸ばす機会をみんなに等しく提供してほしいと思います。



表紙の小話

スプリングコンサート

三学期の終業を目前に控えた日曜日、中学校体育館で吹奏楽部のスプリングコンサートがありました。

6年度は3年生不在のなか、1・2年生10人が頑張りました。地域部活動への移行があり、音楽が好きな地域の方からの参加もあり、様々な環境の変化にもたくましく対応しました。

コンサート迄に仕上げたのは、「ルパン三世のテーマ」や「K点を超えて」などなんと11曲。曲の多さもさることながら、完成度の高さに感動しました。また、12月に行なわれた新潟県アンサンブルコンテスト木管3重奏で金賞、管楽7重奏で銀賞を獲った曲も披露されました。

新一年生を迎え、新体制でスタートします。音を合わせて心を通わせ、音楽を楽しむ事を伝えていってくれるでしょう。

(高桑佳子)

編集後記

3月定例会が閉会し、議会改選前の定例会がすべて終了しました。

議会報特別委員会の現メンバーで議会だよりを発行するのは、この127号が最後となります。

前回の議会だよりに掲載しました議員報酬等の引き上げの件につきましては、「特別職等報酬審議会」に諮問を出しているところであります。

いずれ何らかの答申が出るものと思いますので、随時ご報告申し上げます。

4年間ご愛読いただきまして誠にありがとうございました。次号からは新体制での発行になりますが、これからも議会活動について、より分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。議会だよりが皆さまの身近な読み物になりますよう、よろしく申し上げます。

(石川 豊)



議会報特別委員会

委員長 石川 豊
副委員長 高桑 佳子
委員 島明日香
委員 小林 玲子
委員 中田 孝信